

技術ノート KGTN 2017030601

現象

[GGH5.X/Windows] 現実に即した負荷試験を行いたいが、お勧めの手順を知りたい。

説明

現実に即した負荷試験ということであれば、できるだけ多くの利用者（端末）に参加して頂くことが大切です。これにより、GG サーバーだけでなくネットワークにも適切（妥当）な負荷が掛かり、試験結果の信頼性が高まります。負荷試験の手順は、試験結果の評価が出来るように、例えば次のようなシナリオ（午前 9 時スタート）で実施することをお勧めします。

1. 09:00 ～ 09:05 「ログオン → 30 秒待機 → ログオフ」、この繰り返し
2. 09:05 ～ 09:10 「ログオン → ブラウザを起動」
※評価が出来るように待機
3. 09:10 ～ 09:15 「ウェブページにアクセス → 10 秒待機」、この繰り返し
※ネットサーフィンをしているような操作
4. 09:15 ～ 09:20 「通常利用するアプリケーションを起動」
※評価が出来るように待機
5. 09:20 ～ 09:30 「アプリケーションを自由に利用」、その後ログオフ

Last reviewed: Mar 06, 2017

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2017 kitASP Corporation